

Mizuho Daily Market Report

2023/12/4

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	148.28	146.82	▲1.38	▲2.62
EUR	1.0897	1.0884	▲0.0004	▲0.0055
AUD	0.6603	0.6675	+0.0070	+0.0090
SGD	1.3383	1.3335	▲0.0038	▲0.0066
CNY	7.1450	7.1285	▲0.0065	▲0.0205
MYR	4.6850	4.6733	+0.0108	▲0.0144
THB	35.25	35.03	▲0.16	▲0.46
IDR	15501	15485	▲25	▲80
PHP	55.41	55.41	▲0.08	+0.02
INR	83.35	83.30	▲0.10	▲0.08
VND	24272	24287	+26	+20

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.196%	▲13.1 bp	▲27.1 bp
日本(10年)	0.697%	+2.5 bp	▲8.0 bp
ユーロ圏(10年)	2.362%	▲8.5 bp	▲28.1 bp
オーストラリア(5年)	4.141%	+6.7 bp	▲10.1 bp
シンガポール(5年)	2.928%	+1.0 bp	▲4.5 bp
中国(5年)	2.564%	▲0.7 bp	▲2.6 bp
マレーシア(5年)	3.624%	▲0.2 bp	▲0.4 bp
タイ(5年)	2.615%	+0.5 bp	▲7.4 bp
インドネシア(5年)	6.639%	▲2.7 bp	▲3.1 bp
フィリピン(5年)	6.011%	▲0.2 bp	▲19.4 bp
インド(5年)	7.270%	+1.6 bp	+1.6 bp
ベトナム(5年)	2.000%	+0.0 bp	+0.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	36,245.50	+0.8%	+2.4%
N225(日本)	33,431.51	▲0.2%	▲0.6%
STOXX50(ユーロ圏)	4,418.51	+0.8%	+1.1%
ASX(オーストラリア)	4,094.48	+1.0%	+0.4%
FTSTI(シンガポール)	3,090.31	+0.6%	▲0.1%
SSEC(中国)	3,031.64	+0.1%	▲0.3%
KLSE(マレーシア)	67,481.19	+0.7%	+2.3%
SETI(タイ)	7,059.91	▲0.3%	+0.7%
JKSE(インドネシア)	1,456.38	+0.3%	+0.2%
PSE(フィリピン)	6,245.18	+0.3%	▲0.4%
SENSEX(インド)	1,380.31	+0.0%	▲1.2%
VNINDEX(ベトナム)	1,102.16	+0.7%	+0.6%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	270.77	▲1.0%	▲0.5%
金	2,072.22	+1.8%	+3.6%
原油(WTI)	74.07	▲2.5%	▲1.9%
銅	8,538.52	+1.8%	+2.5%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	146.30	—	148.50
EUR/USD	1.0870	—	1.1070
AUD/USD	0.6530	—	0.6660
USD/SGD	1.3220	—	1.3430
USD/CNY	7.1150	—	7.2030
USD/INR	4.6370	—	4.7030
USD/THB	34.60	—	36.20
USD/IDR	15330	—	15570
USD/PHP	55.00	—	57.00
USD/VND	82.80	—	83.65
USD/VND	24,100	—	24,800

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は148円台前半の水準でオープン。前日の流れから一転し、仲値にかけてはドル売り優勢の展開となり147円台前半の水準まで下落。その後は米金利が持ち直す中で148円台前半まで買い戻されるも、パウエルFRB議長の発言を控えて勢い続かず。結局、148円台前半の水準で海外時間へ。アジア通貨は総じて軟調。FRB当局者らが市場で出ている早期利下げ転換の観測をけん制したことを受けて、ややドル高に推移した。

海外時間のドル円はパウエルFRB議長の発言を控えて、147円台半ばから148円台前半付近での神経質な値動きが続き、148円台前半の水準でNYオープン。NY時間朝方は148円台前半での狭いレンジ推移が続くも、続いて発表された米11月ISM製造業ヘッドラインが予想を下回り、米金利低下と共に売りが優勢となり、146円台後半まで値を下げる。NY時間午後は売り一巡となるも、米金利が低水準で推移する動きが上値を抑え、146円台後半で小動き後、同水準を維持しクローズ。

【金利】

米債市場は大幅にフル・スティーブ化。米11月ISM製造業景況指数が市場予想を下回ると、フル・スティーブ化圧力がかかる。パウエルFRB議長が、引き締め不足・過剰のリスクは均衡しているため、慎重に政策運営を進めることを示唆すると、米金利は低下幅を一段と拡大。

【予想】

本日のドル円は前日大きく下げた米金利の寄り戻しを受けて、ドル円も反発する展開を予想。米10月耐久財受注の結果にも注目したい。

【本日の予定】

(日本) 11月 マネーベース
(日本) 輪番 1-3y、3-5y、10-25y、25y超
(アジア) 10月 豪 住宅ローン額 / 持家住宅ローン / 投資家ローン額
(アジア) 11月 豪 ムルボルンインスティテュート インフレ
(アジア) 3Q NZ 交易条件指数
(アジア) 3Q 豪 在庫 / 企業営業利益
(欧州) 10月 独 貿易収支
(欧州) 11月 西 失業率数変化
(欧州) 12月 ユーロ圏 センティックス投資家信頼感
(欧州) 独 国債入札 (6M、12M)
(米国) 10月 製造業受注 / 耐久財受注(確)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権は必ずしも銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。